

保護者 様

印西市立原山中学校
校長 土屋 剛

学校評価に関するアンケート結果と考察

早春の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の活動にご支援、ご協力をいただき、お礼申し上げます。

さて、ご回答いただきました学校評価アンケートについての結果をお知らせいたします。本年度も、多くの保護者の皆様から学校評価にご協力いただきました。今回のアンケート回答率は若干上昇しており、今後も回答数が増えることで、より具体的に今後の学校の方向性を定めることができると考えております。また、アンケート結果から、皆様のご意向を次年度の教育活動に活かしてまいりたいと思います。さらなるご協力をお願いいたします。

アンケートでは、評価を4段階で実施いたしましたが、肯定的な評価の昨年度との比較を記載し、割合が高かった方を全角で記載しています。

個別の評価項目については以下のとおりです。
保護者アンケートの概要

- 「アンケート回収率」について、昨年度72.3%から今年度74.7%と向上した。リマインドも行っているが改善されている。一昨年度から保護者会や行事の参加の有無をGoogle Formsから回答する形で行っており認知された結果であると推測される。今後は、質問のみ提示されたものから、回答しやすい形式を検討していく。
- 「学校教育目標」について、昨年度63.7%から今年度63.9%と同程度の肯定的評価を得られた。学校だよりや学級通信などで目にする機会があるが、より認知度を向上させるためにも、学校便りやホームページで教育方針・目標を定期的に周知したり、保護者会や懇談会で方針を説明し、質疑応答の場を設けるなどの方策を立てていく。今後も周知に努め、80%を目標とする。
- 「意欲的な学習への取り組み」について、昨年度:67.2%から今年度:59.8%と大きく低下した。保護者側からの視点ではあるが大きく肯定的評価が低い。今後、個別指導の強化や、興味を引く授業の工夫をし、成功体験を積めるよう、適切な目標設定とフィードバックを行っていく。また、家庭学習支援の強化(学習計画の提示、親子学習の推奨)を行い、保護者が関わるような場面設定をしていく。
- 「授業のわかりやすさ」については、昨年度58.4%から今年度55.7%と低下した。生徒よりも保護者の評価が厳しい傾向があるが、よりよい評価となるよう指導方法や指導技術について、さらなる研究と修養に努めていく。特にICTの活用や視覚的教材を増やし、授業の理解を促進していく。教員間での授業研究を強化し、指導方法の向上を図っていく。
- 「豊かな心の育成」については、昨年度76.6%から76.7%と昨年と同程度であった。今後も継続して道徳教育やキャリア教育について充実させていく。また、来年度からの研修では、情報教育と人権教育を絡めた指導を教科横断的に進めていく。
- 「いじめ対応について」は、昨年度72.1%から今年度72.6%と同程度の肯定的評価を得られた。昨年度と同様に、「わからない」という回答が10ポイントほどあることから、いじめ防止プログラムの継続と強化や、相談窓口の周知徹底していく。また、スクールライフノートの教育相談機能を活用し、指導やケアが必要なタイミングを把握していく。「健康」については、昨年度の73.1%と同じ数値となった。昨年度より新型コロナウイルスが5類引き下げとなり、生活様式が過去の形に戻っていく過程である。今年度はインフルエンザの流行が例年より早く始まり、またコロナ感染症も同時に流行したりと、対応に苦慮した面があったが、学級閉鎖になったクラスはなく、以前より落ち着いた環境で学校生活を送ることが出来ている。
- 「安全教育」については、昨年度74.6%から今年度75.8%と上昇した。今年度はワンポイント避難訓練や防犯訓練などに取り組んだ。30年以内に起こると言われている大地震に備えるため、今後も短学活等での指導や防災意識を高めていく必要がある。
- 「施設・設備」については、昨年度69.7%から今年度68.0%となった。大規模改修工事から2年が経ち、校舎の内外がきれいになった。今後維持が出来るよう、清掃指導や設備管理について、改善計画を策定し、優先順位を明確にしながら進めていきたい。また、来年度から教育DX研究指定校となり、より使いやすいICT環境の整備を進めていく。
- 「地域の人材や地域での活動」については、昨年度61.0%から今年度59.4%と下降した。保護者の意見としては、授業の地域からの講師の活用や、部活動の指導者不足を感じているところが大きいのではないかと推察される。今後は、コミュニティスクール設置に向け地域との連携強化を図っていく。また、部活動の地域展開についても保護者への説明を丁寧にやっていく。

評価項目	今年度肯定的な意見	昨年度肯定的な意見
① あなたは、学校の教育方針や教育目標をご存じですか。	63.9%	63.7%
② お子さんは、意欲的に学習に取り組んでいると思いますか。	59.8%	67.2%
③ お子さんは、授業がわかりやすいといっていますか。	55.7%	58.4%
④ お子さんは、家庭で宿題や課題等、家庭学習に取り組んでいますか。	60.7%	64.5%
⑤ お子さんは、友達を大切にしていると思いますか。	89.0%	89.6%
⑥ 学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。	76.7%	76.6%
⑦ お子さんは、健康に気をつけて生活していると思いますか。(食事、運動、睡眠等)	73.1%	73.1%
⑧ 学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。	72.6%	72.1%
⑨ 学校では、いじめがあったとき、すぐに話を聞いて対応してくれると思いますか。	72.1%	72.1%
⑩ 学習や生活で困ったことがあったとき、先生方はすぐに話を聞いて対応してくれると思いますか。	78.1%	79.1%
⑪ 学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	75.8%	74.6%
⑫ 学校の施設・設備は整っていると思いますか。	68.0%	69.7%
⑬ 学校は、市や地域の環境・施設・人材を教育活動に生かしていると思いますか。	59.4%	61.0%

アンケート回収率 74.7% 72.30%

生徒アンケートの概要

- 「学校教育目標」については昨年度の79.7%から今年度は83.7%へと向上した。学校の目標を明確に伝える機会を増やし、学校目標につながるキーワードである「自律」について校長室だよりなどで伝えたことも一因であると推察される。今後も、学校全体で目標の共有を続けていくことが重要である。今後も5つの具体的目標の達成を中心に取り組み、学校をより自己実現可能な活動の場へと進めていく。
- 「授業のわかりやすさ」については、昨年度の84.6%から今年度は89.2%へと向上した。ICTの活用やアクティブラーニング型の授業導入が進み、生徒の理解が深まったことが要因として考えられる。引き続き、わかりやすい授業の工夫を重ね、指導方法や技能の向上を図りつつ、研究と修養に努める。
- 「生徒の家庭学習への取り組み」については昨年度の79.3%から今年度も同じ79.3%となった。家庭学習への取り組みに対しての大きな取組の変化は見られなかったが、。今後は、個別最適な学びの推進や、学習への興味を引き出す授業づくりにさらに力を入れる必要があり、学習アプリなどで予習・復習を行い、家庭とともに学習の取り組み方について見直しをしながら、生徒がさらに主体的に学ぶように支援していく。
- 「友達を大切にすることや、友達および自他の生命を大切にすること」については、昨年度88.6%から今年度は92.4%へと向上した。学級経営の充実や、相互理解を深める活動が効果を上げたと考えられる。引き続き、仲間づくりを促進する活動を取り入れ、良好な人間関係の構築を支援していく。特に道徳や学級活動などで、相手の背景を想像して、一人ひとり違うとい意識を持たせたり、言葉の重要性を見直したりするなど、人権意識の向上を目指し、様々な場面を設定していく。
- 「健康に留意した生活」については、昨年度の81.7%から今年度は82.1%へとやや向上した。健康教育の推進が一定の成果を上げているが、さらなる向上を目指し、健康行事を機会に生活習慣の見直しを促す活動を強化していく。
- 「学習や生活で困ったことがあったときの先生方の迅速な対応」については、昨年度の84.6%から今年度は89.2%へと向上した。教師の対応力向上が評価された結果と考えられる。教育相談研修を深めていくことで、生徒の表情や行動の変化をつぶさに感じ取ることでできる教員を育成していく。また、相談しやすい環境づくりを進めることが重要である。
- 「先生方が自分のよさや頑張りを認めてくれるか」については、昨年度の86.2%から今年度は90.8%へと向上した。教師の声かけや肯定的な関わりが増えたことが影響していると考えられる。今後も個々の良さを引き出す指導を継続していく。
- 「いじめへの対応」については、生徒の肯定的評価が昨年度とほぼ同じであるが、90%近くの高い値の肯定的評価を獲得している。教師がアンテナを高くして未然防止に努めているが、未だ0になることはない。特に増加しているのはSNS等から来た問題である。この問題に関しては、表面化してから把握することがほとんどで、様々な確認をするためには保護者との連携は不可欠である。毎年1年生を対象にSNSやネットリテラシー講習を行ってきたが、来年度は全校を対象として開催し、保護者にも参加してもらうことで情報の共有を行っていく。
- 「安全な生活」については、昨年度の85.4%から今年度は89.6%へと向上した。安全指導や防災教育が定着し、生徒自身の意識が高まっていると考えられる。今後も継続的な取り組みを行い、HPや学年便りなどの通信物で、活動を大きく取り上げ周知していく。
- 「地域の人材や地域での活動」については昨年度の83.0%から今年度は81.7%へと低下した。コロナ禍以降、地域との関わりを再構築する過程にあり、今後さらなる連携強化が必要である。段階的に市内でコミュニティスクールの導入推進が進む中、地域との交流活動を積極的にを行うことで、実施に向けて関係を深めていく。

評価項目	今年度肯定的な意見(%)	昨年度肯定的な意見(%)
① あなたは、学校のめあてや目標を知っていますか。	83.7%	79.7%
② あなたは、進んで学習に取り組んでいますか。	82.9%	80.5%
③ 授業はわかりやすいですか。	89.2%	84.6%
④ あなたは、家庭で宿題や課題等、家庭学習に取り組んでいますか。	79.3%	79.3%
⑤ あなたは、友達を大切にしていますか。	92.4%	88.6%
⑥ あなたは、自他の生命を大切にし、感謝の気持ちをもって生活していますか。	91.2%	87.8%
⑦ あなたは、健康に気をつけて生活していると思いますか。(食事、運動、睡眠等)	82.1%	81.7%
⑧ 先生方は、あなたのよさや頑張りを認めてくれていますか。	90.8%	86.2%
⑨ 先生方は、いじめがあったときよく話を聞いて対応してくれると思いますか。	89.6%	89.3%
⑩ 学習や生活で困ったことがあったとき、先生方はすぐに話を聞いて対応してくれると思いますか。	89.2%	84.6%
⑪ あなたは、事故にあわないように気を付けて生活していますか。	89.6%	85.4%
⑫ 学校の施設・設備は整っていると思いますか。	90.8%	84.6%
⑬ 保護者や地域の方々を行う活動は充実していますか。	81.7%	83.0%
アンケート回収率	85.70%	85.30%